

ひとりで悩まず、ご相談ください!

こども子育ての課題が複雑化しています。どこに相談したらよいかわからない、行政はどんな話を聞いてくれるのかわからない。そんな声を多く聞きます。

悩みを抱える子育て世代の皆様へ寄り添った体制を整えてまいります。



♡ LINEを活用した「せんだいみやぎ 子ども・子育て相談」

仙台市と宮城県が連携して開設している、子育てについて気軽に相談できるLINE相談窓口です。 (QRコード▶)



♡ 「ヤングテレホン相談」(保護者の方もご相談可)

青少年(小学校高学年~おおむね20歳まで)の悩みや、その保護者の方の悩みを24時間365日、電話で相談に応じます。(フリーダイヤル) **0120-783-017**

♡ ひとり親家庭の相談窓口サイト「ポルクス(POLLUX)」

ひとり親家庭を支援する認定NPO法人(STORIA)が、仙台市の委託で運営している相談窓口です。 (QRコード▶)



♡ 「のびすくナビ」+スマホアプリ(子育てタウン)

仙台市の子育て応援情報サイトです。 (QRコード▶)



行政サービスやイベント情報を手軽にチェック!
 ▶ 仙台市からの大切なお知らせを受け取れるほか、いざという時の病院救急情報、相談先の確認など、子育ての心強いサポートツールです!

仙台市のデジタル化、大丈夫?!

中国共産党の党大会が最近のニュースにもなりましたが、アメリカでは、人民日報は報道機関ではなく、中国共産党のプロパガンダ機関だと2020年に認定され、その社員は国務省に報告するよう義務付けられています。また、オーストラリアなど世界各国で、中国が経済進出にとどまらず、政治的に介入している事例が増加しています。

せんだい自民党では、市政への影響や仙台市民の個人情報の保護、自治体のサイバーセキュリティや経済安全保障の観点から、皆様と情報を共有しつつ、この問題についても向かい合っていきたいと考えています。

菊地 崇良 (委員会質疑)

仙台市のデジタル推進をはかる市長補佐官として任命された人物が、中国共産党の直轄・発信組織である人民日報の、所謂「日本月版」に関係する理事長を務めているとのこと。子ども医療費助成に係るシステムの構築にあたっては、事業者の選定が恣意的に行われたり、子どもたちと仙台市の情報が拡散されたり攻撃されることの無いよう、強く求める。(健康福祉協議会/令和4年4月21日)



斎藤 範夫 (委員会質疑)

人民日報日本月版は、日本における中国共産党のプロパガンダ紙ではないのか。

また発行元の日本新華僑通信社は、日本に中国人を送り込む活動を行っている組織にも思える。補佐官の任命は郡市長の意向とのことだが、議員に配布された経歴書にこうした事実が記載されていなかったのは何故か。意図的ではないのか。DXの推進にあたって、中国共産党と密接な関わりを持つ方がアドバイザーというのは、不安を抱く。(総務財政委員会/令和4年4月21日)



佐藤 正昭 (委員会質疑)

補佐官は、日本新華僑通信社の理事長であるとともに(中国との経済交流組織である)日本深圳^{シンセン}経貿文化促進会の最高顧問でもある。今何よりも大切な「情報」が漏洩などの危険にさらされている状況であり、経済安全保障の観点からも見過ごすわけにはいかない。今後デジタル化を進めていく上で市が独自性を発揮し、機器やソフトなどの選定においても偏った誘導が起きないように、しっかりと対応していただきたい。(経済環境委員会/令和4年4月21日)



田村 勝 (代表質疑)

中国は現在、政治、経済など様々な工作を通じて日本を自国の影響下に置こうとしており、このような状況にもかかわらず仙台市は、中国共産党のプロパガンダ紙である人民日報の名を冠した月刊誌の理事長を市長補佐官に起用した。これをきっかけに本市やスーパーシティ構想を通じて取り組む東北大学と、中国共産党の影響を受ける中国企業との関係が深まり、その結果日本の技術や情報が流出する恐れもある。そもそもこうした起用をするのであれば、まず議会承認を通さなければならないはずではないのか。今回の起用は相当なリスクを抱えることになるが、市長はどのように考えるのか。(令和4年第2回定例会/令和4年6月16日)



「人民日報」冠した組織の理事長 自民市議ら、中国寄り誘導警戒



仙台市の郡和子市長が市長補佐官に起用したIT事業会社のトップ、藤原洋氏(67)の兼務内容が市議会に波紋を広げている。藤原氏が中国共産党機関紙「人民日報」の名を冠した月刊誌の理事長を務めているためだ。月刊誌側は人民日報社とは別の組織が出版することから、中国共産党の指揮下にはないとしている。ただ、自民党市議らは市政が中国寄りに誘導されかねないと警戒している。

(令和4年4月23日/産経新聞 宮城版より)

菊地たかよし プロフィール

昭和43年 仙台市生まれ / 七郷小学校、蒲町中学校、仙台第一高等学校、東北学院大学(法学部) 卒業
 平成5年 陸上自衛隊入隊 / 平成22年 二等陸佐で退官 / 令和3年 東北大学大学院(公共政策) 修了 /
 平成23年~ 仙台市議会議員(現在三期目)

役職など(令和4年9月現在)

- 総務財政委員会 委員
- 防災減災推進調査特別委員会 委員
- 仙台市都市計画審議会 委員
- 仙台市議会会派・せんだい自民党 政調会長
- 仙台市拉致救出議連 幹事長
- 日タイ友好仙台市議会議員連盟 事務局長
- 仙台市私立幼稚園PTA連合会 副会長
- 防災士 など



公式HP



Facebook



編集・発行 / 菊地崇良事務所

〒984-0038 仙台市若林区伊在1丁目12-27
 TEL 022-390-4105 / FAX 022-288-2342
 Eメールアドレス: info@kiku-taka.jp



せんだい自民党
会報HP



日々の活動は
フェイスブックで発信中!

発行: 仙台市議会 せんだい自民党
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1
TEL.022-214-8644 FAX.022-714-2320

私たち「せんだい自民党」は、市民与党として〈安全・安心〉〈地域力の向上〉

〈子育て世代等への支援〉〈経済活性化〉を重視し、市民の幸せと市政発展の実現に取り組んでおります。

第3回定例会では、会派の全議員が本会議、常任委員会、決算等審査特別委員会では々々非々の議論を展開しました。

各質疑の詳細は、仙台市議会ホームページ等でご覧いただけますが、その中から特に代表質疑等を抜粋しご報告します。



あとの 薫
(会長)

青葉区(4期)
健康福祉委員会
歴史まちづくり
調査特別委員会



ささき しん
佐々木 心
(幹事長)

太白区(2期)
経済環境委員会
歴史まちづくり
調査特別委員会



きくち たかし
菊地 崇良
(政調会長)

若林区(3期)
総務財政委員会
防災・減災推進
調査特別委員会



むらおか たかこ
村岡 たかこ
(副幹事長)

青葉区(1期)
市民教育委員会
子育て環境充実
調査特別委員会



たむら まさる
田村 勝
(副政調会長)

宮城野区(1期)
都市整備委員会
文化芸術・スポーツ振興
調査特別委員会



さとう まさあき
佐藤 正昭

若林区(8期)
健康福祉委員会
文化芸術・スポーツ振興
調査特別委員会



さいとう のりお
斎藤 範夫

泉区(5期)
総務財政委員会
人生100年時代
調査特別委員会

～仙台市議会 第3回定例会 会派代表質疑 主な質疑・提言～ (質疑: 菊地 崇良)

一段高い都市経営の 視点を持った市政運営を



せんだい
自民党
令和5年から10年間の収
支差はマイナス約3,628
億円になる。大型事業への投
資が続く中、市長は本市の姿
をどう描こうとしているのか。

仙台市 バランスをとりつつ計画的
に実施するため、税源涵養
や国費などの財源獲得で歳入を広
げながら、事業の厳選重点化や見
直しを行い持続可能な財政基盤を
確立し、将来にわたり活力あるまち
を次世代に受け継いでいきたい。

中国新疆ウイグル自治区に おける深刻な人権侵害



せんだい
自民党
国連人権高等弁務官事務
所は、中国の新疆ウイグル
自治区での強制的医療行為や
拷問などの深刻な人権侵害を
指摘した報告書を発表した。言
語道断だ。市長の見解を伺う。

仙台市 いかなる国であっても人権
侵害は許されないというこ
とは、世界の人々の共通の思いであ
ると認識している。この問題が、国
際社会と協調した取り組みで早期
の解決に向かうことを切に願う。

～その他の質問項目～

- 感染症対策や救急搬送体制の改善
- 音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設の課題
- 子育て施策への市長評価は低く、いじめ・不登校は減らない現状
- 経済安全保障および農業対策
- 来春開催の「全国都市緑化仙台フェア」には羽生結弦さんのようなインフルエンサーの登用を

～追加提案に対する質疑～ (質疑: 佐々木 心)

電力・ガス・食料品など 価格高騰緊急支援 給付金の支給

せんだい
自民党
以前の支給の際には、視
覚障害者や配慮を要する
方への対応に不親切な状況が
あった。今回の対象者、特に配
慮を要する方への対応を伺う。

仙台市 令和3年以降の支給にあ
たっては封筒への点字シール
の貼付やホームページの音声読
み上げ対応などを行っている。やさ
しい日本語でのご案内を作成する
など、障害のある方も手続きなど
円滑に行えるよう努めており、これ
までの反省を踏まえ今回も丁寧
に対応する。

～決算等審査特別委員会 総括質疑 主な質疑・提言～ (質疑: あとべ 薫)

4病院の再編・統合問題について 県市の歩み寄りを求める

せんだい
自民党
噛み合わない議論を避
け、事前に数値を合わせる
など、県市双方とも市民が理解
できるようお互いに歩み寄る重
大な問題であり、日頃からの県・
市とも組織を挙げた関係づく
りが必要であるが、いかがか。

仙台市 私どもが示している意見や疑問
に対し、県からの説明がなされて
いないが、特に重要と考えられる課題を
整理し、今般、県に示したところ。県から
は、これに対して回答を行う旨が示され、
今後も引き続き、県との十分な意思疎通
を図り、本市として必要な対応に努める。

いじめ問題に対する 市長の取り組み認識

せんだい
自民党
市長公約の「一丁目一番地」で
ある「子ども・子育て・教育の
重要課題」が市民の評価の上でも
結果が出ていない。適正な予算の使
い方をしてきたと言えるのか伺う。

仙台市 35人以下学級の推進、スクー
ルカウンセラーなどの専門家
配置による体制強化をはじめ、様々な
取り組みを有機的に組み合わせなが
ら教育環境の充実を図っており、
一定の成果は出ていると認識。一方で、
市民意識調査の「より重点的に取り組
むべき」との評価は真摯に受け止めて
いる。市民の期待に応えていけるよう、
教育施策の更なる充実に努めたい。

～その他の質問項目～

- 本市の財政について
- 内部統制評価について
- 水道事業決算について
- ガス事業決算について
- 近隣自治体との連携などについて
- 市民協働と「全国都市緑化仙台フェア」について
- 子どもの居場所について

2023年G7 仙台科学技術大臣会合

せんだい
自民党
私は前回G7仙台財務大
臣・中央銀行総裁会議と
同様に、開催場所を「秋保温
泉」を選定してもらうように進
めるべきであると提案する。開
催場所の誘致への取り組みの
考えを市長に伺う。

仙台市 現在、国において開催場所
の検討されているが、いずれ
の場所に決定しても関係者と連携
し、会合の準備に万全を期すとも
に関連事業を展開し、仙台市全体
として開催の効果を十分に得られ
るように全力を尽くしてまいりたい。